

横浜市インフルエンザ流行情報 5号

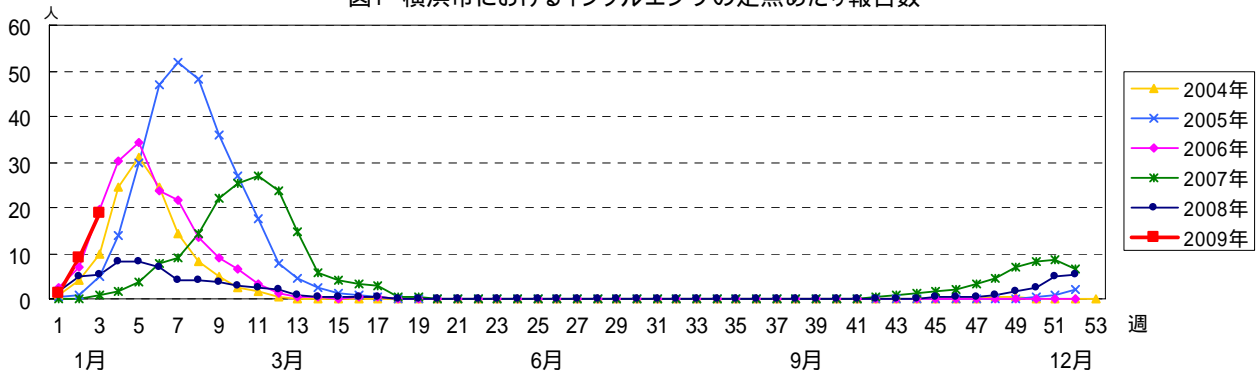
横浜市健康福祉局健康安全課
横浜市衛生研究所

- 第4週(1月19日～25日)は、定点あたり報告数45.93(暫定値)と、横浜市全域が警報レベルの流行となりました。
- 学校等における集団かぜは2009年1月24日までに施設閉鎖4施設(4施設)、学年閉鎖3施設(3学年)、学級閉鎖28施設(29学級)の報告がありました。
- 第4週に市内の医療機関から8歳女児のインフルエンザAによる急性脳症の報告がありました。
- 今シーズンに入り、病原体定点医療機関の検体からインフルエンザウイルスが44株分離され、その内訳は、AH1(ソ連型)24株、AH3(香港型)11株、B型9株でした。そのうちAH1(ソ連型)18株とAH3(香港型)8株を対象に薬剤耐性遺伝子の検索を行いました。
 - AH1(ソ連型)18株すべてからオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性遺伝子が検出されましたが、ザナミビル(商品名:リレンザ)に対する耐性は確認されていません。

1 今シーズンの感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生状況

(1) 患者定点医療機関からの患者報告状況

図1 横浜市におけるインフルエンザの定点あたり報告数



横浜市では、過去6年間で最も早かった昨シーズンに次いで早く、2008年第49週(12/1～7)に流行の目やすとなる「1.0」を超えました。2009年第3週(1/12～18)の定点あたり報告数は18.74(前週の2.1倍)と増加し、横浜市全域が注意報レベルの流行となりました(図1)。

区別では、都筑(32.71)は警報レベルの流行となり、磯子(27.00)、瀬谷(23.43)、泉(22.86)、旭(22.20)、港北(20.82)、栄(20.80)、神奈川(20.13)の順で多く、西、中以外の16区で注意報レベルの「10」を超えています(図2)。

また、横浜市内の患者定点医療機関のご協力でご報告いただいた迅速診断用検査キットによる型別の判定(患者発生報告書に記載結果を記載いただいたものについての集計)をグラフに示しました。2009年第3週では、A型2184件、B型86件、AB型共に陽性4件の報告がありました(図3)。

図2 第3週 区別定点あたり報告数

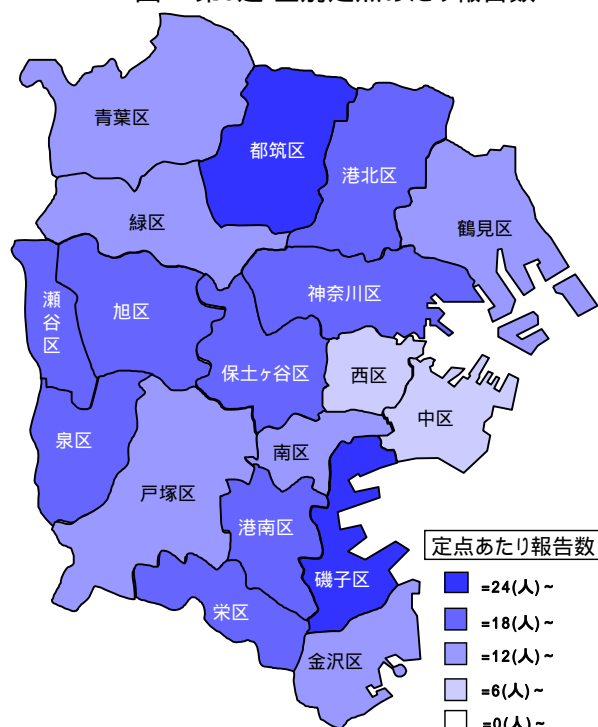
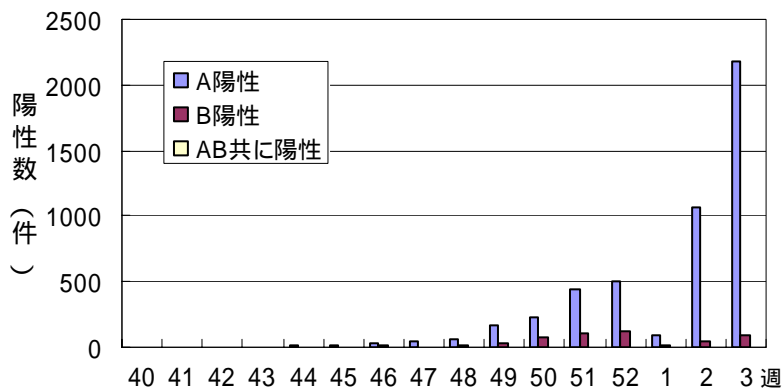


図3 横浜市内の患者定点医療機関における迅速診断用検査キットによる型別の判定



全国でも、インフルエンザ報告数は連続して増加し、第2週に注意報レベルの「10」を超え、第3週の定点あたり報告数は20.83と、さらに増加しています(表1)。

都道府県別では、沖縄県(65.3)、宮崎県(36.3)、岡山県(31.8)で警報レベルの「30」を超え、愛媛県(27.9)、大分県(27.9)、滋賀県(26.7)、長崎県(26.1)、奈良県(25.7)、広島県(25.7)、愛知県(25.2)の順となっており、北海道、青森県、岩手県、島根県以外の43都道府県で注意報レベルの「10」を超えています。

表1 インフルエンザ定点あたり報告数の推移

定点あたり患者報告数	第51週 (12/15-12/21)	第52週 (12/22-12/28)	第1週 (12/29-1/4)	第2週 (1/5-1/11)	第3週 (1/12-1/18)
全国	4.69	6.54	5.38	12.00	20.83
東京都	4.00	5.17	2.14	10.00	16.56
神奈川県(全県)	3.88	5.22	1.99	10.62	20.84
横浜市	4.76	5.43	1.23	9.09	18.74
川崎市	2.48	3.44	1.62	9.32	19.89
県域(横浜・川崎を除く)	3.56	5.72	2.88	12.64	23.33

(2) 今シーズンの学校等における集団かぜについて

市内の幼稚園、学校等からの集団かぜ等は、過去4シーズンと比べて、最も早く2008年10月20日に初発の報告がありました。2009年1月19日以降急激に増えて、1月24日までに施設閉鎖4施設(4施設)、学年閉鎖3施設(3学年)、学級閉鎖28施設(29学級)の報告がありました(表2)。

区別では、13区から報告があり、都筑(6施設)、鶴見(4施設)、神奈川(4施設)、金沢(4施設)、旭(3施設)、磯子(3施設)、泉(3施設)、港南(2施設)、緑(2施設)、中(1施設)、南(1施設)、戸塚(1施設)、瀬谷(1施設)でした。(施設数は延べ数です。)

表2 集団かぜ等による施設閉鎖

区分	閉鎖施設数			閉鎖延べ			閉鎖対象者		
	施設	学年	学級	施設	学年	学級	在籍者	患者	欠席者
幼稚園	3	0	8	3	0	8	820	273	267
小学校	0	2	14	0	2	15	724	340	266
中学校	0	1	5	0	1	5	260	105	66
高等学校	1	0	1	1	0	1	471	139	139
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	28	4	3	29	2275	857	738

全国状況については、<http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> をご覧ください。

横浜市内の最新の流行情報については、

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/report.html> をご覧ください。

インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、横浜市では小児科定点88か所を含む145か所(全国約5000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」と指定しています。

2 今シーズンの病原体定点等の検体からのインフルエンザウイルス分離・検出状況について

2008 年第 47 週以降の病原体定点の検体からのインフルエンザウイルスの分離・検出数は併せて 69 件あり、その内訳は AH1 (ソ連型) 37 件(54%)、AH3(香港型)23 件(33%)、B 型 9 件(13%)となっています。どのサブタイプ(亜型)のウイルスも継続的に分離されていますので、耐性株の関係もあり、今後の動向に注意する必要があります。

病原体定点の検体からの AH1(ソ連型)分離株は、遺伝子解析を行った 18 件すべてにオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示唆する遺伝子変異が認められました(オセルタミビル処方前に検体採取)が、ザナミビル(商品名:リレンザ)、アマンタジン(商品名:シンメトレル等)耐性を示唆する遺伝子変異が認められませんでした。

また、AH3(香港型)分離株は、遺伝子解析を行った 8 件すべてにアマンタジン耐性を示唆する遺伝子変異が認められましたが、オセルタミビル耐性を示唆する遺伝子変異が認められませんでした。

B 型分離株に対して薬剤耐性に関する遺伝子解析は行っていません。

集団かぜの検体に関しては、AH1 亜型(ソ連型)が 3 株、B 型が 5 株分離されました。

亜型	調査方法	分離ウイルス株数	薬剤耐性検査数	オセルタミビル耐性遺伝子検出数	アマンタジン耐性遺伝子検出数
AH1(ソ連型)	病原体定点	24	18	18(100%)	0
	集団かぜ	3	-	-	-
AH3(香港型)	病原体定点	11	8	0	8(100%)
	集団かぜ	0	-	-	-

(1) 今シーズンの病原体定点の検体からのインフルエンザウイルス分離・検出状況

月集計および週数	インフルエンザ検出状況					
	A 型				B 型	
	H1(ソ連型)		H3(香港型)		分離	PCR*
	分離	PCR*	分離	PCR*		
2008 年第 47 週 ~ 第 52 週 (11/17 ~ 12/28)	10	-	6**	10	7**	
2009 年第 2 週 (1/5 ~ 1/11)	6	2	3	-	-	-
第 3 週 (1/12 ~ 1/18)	4	3	1	1	2	-
第 4 週 (1/19 ~ 1/25)	4	8	1	1	-	-

*: ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

** : うち 1 件は、1 人の検体から AH3 亜型と B 型の両方が分離されました。

(2) 今シーズンの学校等における集団かぜからのウイルス分離・検出状況

検体採取週	区数	施設数	検体数	インフルエンザウイルス検出数					
				分離			PCR		
				AH1	AH3	B	AH1	AH3	B
2008 年第 50 週 (12/8 ~ 12/14)	1	1 幼稚園	3				3		
2008 年第 51 週 (12/15 ~ 12/21)	1	1 中学校	5			4			
2009 年第 4 週 (1/19 ~ 1/25)	9	2 幼稚園	8	1			4		
		5 小学校	19	2		1	10		
		1 中学校	1					1	
		1 高等学校	1						1

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によれば、2009 年 1 月 28 日現在、全国の地方衛生研究所のインフルエンザウイルス分離・検出状況は、A(H1)型 530 例、A(H3)型 444 例、B 型 160 例です。

詳しくは、<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data1j.pdf> をご覧ください。

(参考)

厚生労働省:インフルエンザ Q&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/07qa.html>

国立感染症情報センター:インフルエンザ Q&A(一般向け)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/fluQA/QAgen01.html>

横浜市健康福祉局 健康安全課 (TEL:671-2463)
 横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 (TEL:754-9816)
 検査研究課ウイルス担当 (TEL:754-9804)